

## 第2章 教務関係

### 本学の教育の特長

#### 【実践的な語学教育】

英語、中国語を集中的に学ぶ、グローバル英語プログラム、中国語・中国文化プログラムの2つの語学プログラムを設置しています。

#### 【語学研修・海外留学】

語学力と総合的なコミュニケーション力、異文化への理解を深めるため、アジア英語研修、提携校留学プログラムへの参加を奨励しています。詳細は、4-1を参照してください。

#### 【日本文化を基盤とする幅広い教養教育】

日本を正しく理解することは異文化理解への第一歩です。本学では、日本文化を中心に幅広く教養教育科目を開講しています。詳細は、2-26を参照してください。

#### 【教員養成プログラム】

規定の単位を修得することで、英語または国語の教育職員免許状（中学校・高等学校教諭1種）を取得することができます。本学の特色を活かしたきめ細かい教育で教職への夢をサポートします。詳細は、2-27を参照してください。

### 2-1 セメスター制

本学はセメスター（学期）制を採用しており、1年は春期・秋期の2セメスターに分かれています。本学の科目は一部の例外を除き、1セメスター15週＋定期試験で完結します。

### 2-2 学籍

本学の修業年数は4年とし、在学年数は8年まで認められます。ただし、休学期間は在学年数に含まれません。学籍の異動は必要な書類が提出された場合、教授会において審議します。学籍異動の区分は次のとおりです。

#### 1. 休学

- 病気や経済的理由など、やむを得ない理由により学修の継続が困難であると判断される場合とし、一度の休学期間は1年を越えることはできません。
- 教授会が特に認めた場合を除き、休学可能な期間は、学期を単位として通算2学年度以内となります。

#### 2. 復学

休学期間を終えて復学する場合は、学期が始まる前月（3月、8月）までに復学願を教務課に提出してください。

#### 3. 退学

事前に指導教員または教務課に相談した上で、退学願を教務課に提出してください。

#### 4. 除籍

所定の期日までに学納金が納入されない場合、学則に基づいて除籍となります。

#### 5. 再入学

退学または除籍した者が卒業を目的として再入学することができます。

- 退学または除籍から2年以内の者を対象とします。
- 除籍の場合は、除籍の日から1年以内に未納の授業料を納付した者を対象とします。
- 学期が始まる前月（3月・8月）までに教務課に申し出てください。

### 2-3 学生証

学生証は身分証明書として各種手続・試験受験の際に提示を求められますので常に身につけ、大切に保持してください。万一、紛失・破損した場合には直ちに学生課へ届け出て再交付の手続きをしてください。

### 2-4 授業

授業は春期と秋期の2つのセメスター（学期）に分かれています。授業が行なわれる期間は、春期4月から7月下旬、秋期9月下旬から1月下旬です。詳細は学年暦で確認してください。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
9:20～10:50	11:00～12:30	13:10～14:40	14:50～16:20	16:30～18:00

### 2-5 単位と学修時間

大学における授業はその学修量を「単位」という言葉で表します。「1単位の授業科目」は、自学自習時間を含めて「45時間の学修を必要とする内容」をもって構成することが標準となっており、それぞれの科目に設けられた必要な学修量が「単位数」として示される制度を「単位制」と呼びます。卒業のため、また資格取得のためには、それぞれに定められた「単位数」分の学修が必要となります。

単位認定の根拠となる学修時間は、1時間の授業に対し2時間の自学自習です。指定教科書による自学自習と授業の完全履修を求めます。完全履修とは、授業にすべて出席し、定期試験を受験することです。

### 2-6 休講・補講

授業は学年暦に従い15週を完全実施しますが、やむを得ない事情により休講となった場合は補講を行いません。休講・補講についてのお知らせは、掲示板または学生用ポータルサイトで確認してください。

### 2-7 天候や交通ストライキ等による休講

警報発令に伴う措置については、掲示板および大学ホームページに掲載されます。

#### (1) 「警戒宣言」が発せられた場合

「警戒宣言」とは、内閣総理大臣が大規模地震対策特別措置法にもとづき、緊急に防災対策をとる必要があると認めた場合に発する宣言で、いわゆる「地震警報」をいいます。

- A. 発令当日：授業開始以前に発令された場合は、授業は行ないません。授業開始以後に発令された場合は、発令があった時から授業を行ないません。
- B. 発令以降：警報が解除されるまで授業を行ないません。
- C. 解除当日：午前7時までに解除された場合、平常授業を行ないません。午前11時までに解除された場合、午後平常授業を行ないません。

なお、地震防災対策強化判定会招集についても、招集を発令と読みかえて同様の措置をとります。

#### (2) 「暴風警報」が発せられた場合

- A. 愛知県西部に警報発令中は授業を行ないません。
- B. 午前7時までに解除された場合、平常授業を行ないません。午前11時までに解除された場合、午後から平常授業を行ないません。授業開始以後に発令された場合は、発令があった時から授業を行ないません。

### (3) 交通機関が正常に運行しない場合

JR中央本線が不通となるなど、大学への主要な交通機関が正常に運行しない場合でも、原則として授業を行いません。ただし、早期の復旧が望めない場合など状況により、授業開始時刻を遅らせたり休講にしたりすることがあります。鉄道等交通機関が不通の場合は、駅窓口などで遅延証明書等を取得し、後日提出できるように準備しておいてください。

## 2-8 出席の確認

全ての授業で出席を確認します。定期試験を受験するためには、欠席が授業実施回数の5分の1以内でなければなりません。定期試験を受験できなければ、その科目の単位認定はされませんので注意してください。なお、遅刻は授業開始時間から20分まで認められ、遅刻3回で欠席1回とみなされます。

就職活動や課外活動等による欠席は、所定の手続きを行ない「公欠」と認められた場合は、出席と同様の扱いとします。しかし、定期試験を受験するためには、公欠は授業実施回数の3分の1以内でなければなりません。詳しくは、P.57以降の「出席、遅刻、公欠等の取扱いに関する規程」を熟読してください。

## 2-9 試験

試験には、定期試験、追試験、再試験があります。各試験の実施概要は次のとおりです。

### 1. 定期試験

各セメスター（学期）末に学年暦の日程に基づいて実施されます。

### 2. 追試験

定期試験を忌引、疾病、列車等の遅延、事故等で欠席した学生を対象として、追試験受験を許可することがあります。欠席理由を証明する公的な書類（医師の診断書等）がなければ、受験は認められません。指定期間に教務課で公的な書類を添えて受験申請してください。

### 3. 再試験

定期試験の結果、不合格になった場合、当該セメスター（学期）に卒業見込みの者に限り、一定の条件を満たした場合に再試験を許可することがあります。詳細は、4年次春期のオリエンテーションで説明します。

## 2-10 成績評価とGPA

### (1) 成績評価と単位

成績評価と単位認定は、定期試験の評価に加えて、日頃の受講態度（平常点）、出席状況、レポート等課題の内容を総合して判断します。評価は、各科目の授業科目概要（シラバス）に記載された成績評価基準によります。DおよびXと評価された場合には単位認定されません。

グレーディング	判定基準
S (4)	評価点 90 点以上、その科目において要求されている特に優秀にして創造性に富む成績
A (3)	評価点 80 点以上 89 点以下、その科目において要求されている優秀な成績
B (2)	評価点 70 点以上 79 点以下、ほぼ満足すべき成績
C (1)	評価点 60 点以上 69 点以下、合格と認められる最低水準の成績

D (0)	59 点以下、合格とは認められない成績
X (0)	欠席が実施回数の 5 分の 1 を超えた場合、および試験を受験しなかった場合

( ) の数字はグレーディングポイント

## (2) GPA (Grade Point Average) について

### ① GPA の目的

GPA (Grade Point Average = 評価点平均) は「履修科目単位 1 単位あたりの成績平均」です。これにより「学修の成果」を数値化して把握することが可能となります。GPA は、奨学金給付や表彰者決定などの選考基準になります。

### ② 算出方法

次の計算式により単位あたり平均を算出します。

$$GPA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得た評価点})] \text{の合計}}{(\text{履修登録した単位数}) \text{の合計}}$$

履修登録しながら受講しなかった、あるいは途中で受講をやめた場合も X 評価となり、GPA が低下します。履修登録の際には、この点に十分注意してください。また、履修を取りやめる場合は、必ず所定の期間に手続きを行なってください (2-15 参照)。

### ③ GPA に算入されない科目

次の科目の成績は GPA に算入しません。

分野	科目名
体育科目	体育実技 A、体育実技 B
書道科目	書道 A、書道 B、書道 C
実習科目	海外実習、インターンシップ
教員免許取得に関する科目	開設科目一覧 (2-26) に「卒業要件に含めず」と記載された科目
認定科目	他大学等で修得し、本学で単位認定された科目

### ④ 算出期間と表記桁数

GPA はセメスター (学期) ごとではなく、入学時から通算で算出します。表記は小数点以下 2 桁 (3 桁目を四捨五入) までです。

## 2-11 不正行為

試験で不正行為を行なった場合は、教務・学生委員会に諮り、その処分は教授会で決定されます。

- 学籍簿に不正行為を記載し、不正行為者として掲示により公表します。
- 該当学期の履修科目のすべてを不合格とします (定期試験を実施しない科目は除きます)。
- 指導教員の指導を受け、反省文を提出します。

## 2-12 成績評価調査制度

成績評価が間違っていると思われる十分な理由がある場合に、成績評価に間違いがないか、科目担当教員に確認を求めることができます。ただし、成績の再考を求めるものではありません。調査を希望する場合は指定期間内に次の手続きをしてください。

- (1) 調査申請受付期間：成績発表日から 5 日以内 (休日・祝日を除く平日 9:00~17:00)

- (2) 申請方法：教務課で「成績評価に関する質問書」を受け取り、必要事項を記入の上、教務課に提出してください。

### 2-13 卒業要件単位と開講科目

本学を卒業するためには、4年以上在学して124単位以上を修得し、さらに以下の条件をすべて満たす必要があります。

- (1) 基礎教養・キャリア科目群 29単位以上を修得
- (2) 専門教育科目群 30単位以上を修得
- (3) 開設科目一覧(2-26)記載の必修科目および選択必修科目のすべてを修得

### 2-14 履修登録単位数の上限

各セメスター(学期)で履修登録することができるのは24単位分までです。ただし、以下の科目はこの履修登録上限に含めません。

分野	科 目
実習科目	インターンシップ、海外実習
卒業論文	卒業論文
集中講義科目	H S K対策中国語集中講座A、H S K対策中国語集中講座B
教員免許取得に関する科目	開設科目一覧(2-26)に「卒業要件に含めず」と記載された科目

### 2-15 履修登録・修正・取消

各セメスター(学期)に履修登録期間、履修登録修正期間が設けられています。履修登録の方法は入学時のオリエンテーションで説明します。履修登録修正期間には、履修登録した科目の変更、取消、追加が可能です。

### 2-16 必修科目

必修科目を指定セメスター(学期)ないしは年次に単位修得しなかった場合、その後の履修に大きな影響が出ます。必ず指定セメスターないしは年次に単位修得してください。指定セメスターないしは年次に単位修得できなかった場合には、次年度に履修してください。

### 2-17 集中講義科目

通常授業は、各セメスター(学期)の授業期間中に毎週一定の曜日・時限に開講されますが、その他に、ある期間に集中的に1セメスター分の学修を行なう集中講義があります。集中講義の中には履修登録方法が通常授業とは異なるものがありますから、十分注意してください。

### 2-18 履修条件・履修制限科目

科目によっては、適正な人数やレベルを設定して授業の水準を保つ必要があります。そのため、特定の科目の単位修得や、一定の語学レベルに達していることなど履修の条件がある科目があります。また、履修制限科目とは、試験その他の手段で履修水準に達していないと判断された場合は履修不可となる科目です。履修制限を設ける科目は、シラバスに記載されています。

### 2-19 履修順位について

科目名称にⅠ、Ⅱ、Ⅲとローマ数字がつく科目は、原則としてこの順に履修してください。科目名称に

A～Fとアルファベットがつく科目は履修の順番はありません。

時間割および授業科目概要（シラバス）において科目名称についている1、2、3…という算用数字は、同じ科目の別クラスを表します。履修および単位修得が可能なのは、重複履修可の科目（2-20参照）を除き、そのうちの1クラスのみです。たとえば「Basic English 1」を履修して単位修得したら、「Basic English 2」を履修することはできません。

## 2-20 重複履修

単位を修得した科目は原則として再び履修することはできませんが、開設科目一覧（2-26）にこの記載がある科目は複数回履修して単位を修得することができます。重複履修するには担当教員の許可が必要であるほか、条件は科目によって異なります。第1回目の授業で説明しますので、必ず出席してください。

## 2-21 「アカデミアゼミ」「卒業研究」「卒業論文」について

「アカデミアゼミ」（3、4年次対象）は、研究したいテーマについての知識を身につけ、研究を進めていくためのゼミナールです。「アカデミアゼミ」では、学生は専任教員いずれかの研究室に所属しますが、希望者が多数の場合は選抜となる場合もあります。選抜方法は研究室によって異なりますが、必要な知識やスキルの修得状況やGPA等によって判断されることがあります。希望するゼミナールに所属するために2年次までの学修状況や成績が大変重要です。手続きは2年次秋期以降に行ないます。

「アカデミアゼミ」では「卒業研究」および「卒業論文」の作成を行ないます。卒業研究や卒業論文の作成は、知識を得るだけでなく論理的思考や独創性などを養うものであり、大学での学びの成果を形として残すことができます。就職活動において卒業研究や卒業論文についての質問がある場合もあります。なお、「卒業論文」は必修ではありませんが、大学院に進学する場合には必要となりますので作成してください。

## 2-22 資格取得・語学検定に対する単位認定

本学が指定する資格を入学前に取得した者は、所定の手続きにより卒業のための単位として認定されます。

入学前に取得した資格の単位認定（2017年度1年次入学者用）

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名（カッコ内は単位数）	認定単位数	認定級位
簿記	簿記検定（公的試験）	日本商工会議所	基礎教養・キャリア科目群	2	3級以上
	簿記能力検定（文部科学省後援）	公益社団法人 全国経理教育協会			2級以上
	簿記実務検定	公益財団法人 全国商業高等学校協会			2級以上
電卓	電卓計算能力検定（文部科学省後援）	公益社団法人 全国経理教育協会	基礎教養・キャリア科目群	2	1級以上
ワードプロセッサ	日本語ワープロ検定（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	基礎教養・キャリア科目群	1	2級以上

種目	資格検定試験の名称	主催団体名	科目名（カッコ内は単位数）	認定単位数	認定級位
情報技術	情報処理技能検定（表計算）（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	基礎教養・キャリア科目群	1	2級以上
英語	英語検定*	公益財団法人 全国商業高等学校協会	基礎教養・キャリア科目群*	2	2級以上
	実用英語技能検定（文部科学省後援）*	公益財団法人 日本英語検定協会	基礎教養・キャリア科目群*	6 4 2 2	1級 準1級 2級 準2級
漢字	日本漢字能力検定	公益財団法人 日本漢字能力検定協会	基礎教養・キャリア科目群	2	1級
				2	準1級
				1	2級
				1	準2級
文書デザイン	文書デザイン検定（文部科学省後援）	日本情報処理検定協会	基礎教養・キャリア科目群	1	2級以上
マナー	マナー検定	全日本マナー検定協会	基礎教養・キャリア科目群	1	初級以上

\*「英語検定」と「実用英語技能検定」の両方を取得している場合は、単位の多い方のみを認定し、6単位を最大とする。

## 2-23 インターンシップ

休暇中に、企業等での就業体験を通して、学修意欲の向上と進路の決定に役立てることを目的として、インターンシップを推奨します。実習時間と内容を評価して、規程に基づき単位を認定します。参加希望者を対象に説明会を開催します。

## 2-24 愛知学長懇話会単位互換事業

愛知学長懇話会において締結された「単位互換に関する包括協定」に加盟する他の大学で開講される科目を履修し、修得した単位を本学の単位として認定する制度です。詳しくは事務局教務課で尋ねてください。

## 2-25 学修状況に関する保護者様への連絡

日頃の授業への出席状況や学期ごとの成績等の学修状況を各セメスター（学期）末に保護者様に郵送でお知らせします。

## 2-26 開設科目一覧

## 1. 基礎教養・キャリア科目群：必修科目を含め、29 単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択の別	備考
日 本 を 理 解 す る 分 野	日本の伝統と文化	JPN101	2	必履修	
	日本伝統文化演習（書道）	JPN102	1	選択必履修	
	日本伝統文化演習（茶道・香道）	JPN103	1		
	郷土の歴史と文化A	JPN104	2	選択	
	郷土の歴史と文化B	JPN105	2	選択	
	日本国憲法	JPN106	2	選択	
	日本語概説	JPN107	2	選択	
	書道A	JPN108	1	選択	
	書道B	JPN109	1	選択	
	書道C	JPN110	1	選択	
	日本仏教史	JPN111	2	選択	2017 年度非開講
	読んでおきたい日本の近現代文学	JPN112	2	選択	
	物語文学を読む	JPN113	2	選択	
	日本古典語入門	JPN114	2	選択	
	日本言語文化入門	JPN115	2	選択	
	日本近現代文学の成立と展開	JPN201	2	選択	
	日記・随筆文学を読む	JPN202	2	選択	
	日本近現代文学とメディア	JPN203	2	選択	
	和歌文学の世界	JPN204	2	選択	
	日本古典文学史	JPN205	2	選択	
	日本近現代文学史	JPN206	2	選択	
	古文書学	JPN207	2	選択	
	通史が描いてきた世界	JPN208	2	選択	
	歴史解釈の多様性	JPN209	2	選択	
	日本語史	JPN301	2	選択	
	日本文学研究A	JPN302	2	選択	
	日本文学研究B	JPN303	2	選択	
	日本語学演習A	JPN304	2	選択	
	日本語学演習B	JPN305	2	選択	
日本文学演習A	JPN306	2	選択		
日本文学演習B	JPN307	2	選択		
日本史演習A	JPN308	2	選択		
日本史演習B	JPN309	2	選択		
日本文学演習C	JPN401	2	選択		
日本文学演習D	JPN402	2	選択		

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択の別	備考
人間を 理解する 分野	世界宗教の基礎知識	HMN101	2	選択	
	保健科学	HMN102	2	選択	
	倫理と人間	HMN103	2	選択	
	心理学	HMN104	2	選択	
	行動心理学	HMN105	2	選択	
	多文化共生と地方自治	HMN106	2	選択	集中講義
	体育実技A	HMN107	1	選択	重複履修可
	体育実技B	HMN108	1	選択	重複履修可
	日本語教育論Ⅰ（概論）	HMN109	2	選択	
	日本語教育論Ⅱ（文法）	HMN110	2	選択	
	日本語教育論Ⅲ（音声）	HMN201	2	選択	
	日本語教育論Ⅳ（教授法）	HMN202	2	選択	
	言語学	HMN301	2	選択	
日本語教育論Ⅴ（実践演習）	HMN302	2	選択		
世界を 理解する 分野	中国語圏の歴史（前近代）	WRD101	2	選択	
	中国語圏の歴史（近現代）	WRD102	2	選択	
	インドの歴史と文化	WRD201	2	選択	
	インド仏教史	WRD202	2	選択	
	アメリカ史	WRD203	2	選択	
	ヨーロッパ史	WRD204	2	選択	
	欧米の文化	WRD301	2	選択	
	欧米の思想	WRD302	2	選択	
映像文化論	WRD303	2	選択		
言語による 自己表現を 学ぶ分野	文章表現法A	LNG101	2	必修	
	文章表現法B	LNG102	2	必修	
	ドイツ語Ⅰ	LNG201	4	選択	週2回
	ドイツ語Ⅱ	LNG202	4	選択	週2回
	韓国語Ⅰ	LNG203	4	選択	週2回
	韓国語Ⅱ	LNG204	4	選択	週2回
	教養中国語A	LNG205	2	選択	
	教養中国語B	LNG206	2	選択	
	ドイツ語Ⅲ	LNG301	2	選択	
ドイツ語Ⅳ	LNG302	2	選択		
社会人 基礎力 を身につける 分野	大学の学びとキャリア設計	CRR101	2	必修	社会人学生は必修除外
	キャリア入門	CRR102	2	必修	社会人学生は必修除外
	情報基礎A	CRR103	2	必修	
	情報基礎B	CRR104	2	必修	

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択の別	備考
社会人基礎力を身につける分野	キャリアデザインA	CRR201	2	必修	社会人学生は必修除外
	キャリアデザインB	CRR202	2	必修	社会人学生は必修除外
	ビジネスマナー入門	CRR203	2	選択	
	論理思考（プログラミング）	CRR204	2	選択	
	経営管理と戦略	CRR205	2	選択	
	コンピュータテクノロジー	CRR206	2	選択	
	経営と意思決定	CRR207	2	選択	
	観光学A	CRR208	2	選択	2017年度非開講
	観光学B	CRR209	2	選択	2017年度非開講
	キャリアプランニングA	CRR301	2	必修	社会人学生は必修除外
	キャリアプランニングB	CRR302	2	必修	社会人学生は必修除外
	キャリアアップゼミA	CRR303	2	選択	
	キャリアアップゼミB	CRR304	2	選択	
	就職活動対策演習	CRR401	1	選択	通年
演習特別	海外実習	INT101	2	選択	重複履修可
	インターンシップ	INT201	1	選択	重複履修可

2. 専門教育科目群：必修科目、選択必修科目を含め、30単位以上修得

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択の別	備考	
グローバル英語プログラム	Basic English	ENG101	2	必修		
	Media English	ENG102	2	必修		
	Conversation	ENG103	2	必修		
	Listening for TOEIC (Beginner)	ENG111	2	選択	重複履修可(1回のみ)	
	Listening for TOEIC (Intermediate)	ENG112	2	選択	重複履修可(1回のみ)	
	Reading for TOEIC (Beginner)	ENG121	2	選択	重複履修可(1回のみ)	
	Reading for TOEIC (Intermediate)	ENG122	2	選択	重複履修可(1回のみ)	
	Reading (Beginner)	ENG201	2	必修	レベルに応じていずれか1科目必修 / 重複履修可	
	Reading (Intermediate)	ENG202	2			
	Reading (Upper)	ENG203	2			
	Writing (Beginner)	ENG211	2	選択	重複履修可	
	Writing (Intermediate)	ENG212	2	選択	重複履修可	
	Writing (Upper)	ENG213	2	選択	重複履修可	
	ム	Oral Communication (Beginner)	ENG221	2	必修	レベルに応じていずれか1科目必修 / 重複履修可
		Oral Communication (Intermediate)	ENG222	2		
Oral Communication (Upper)		ENG223	2			

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択の別	備考
グローバル 英語 プログラム	Pre-Advanced English - Culture A	ENG301	2	選択	重複履修可
	Pre-Advanced English - Culture B	ENG302	2	選択	重複履修可
	Pre-Advanced English - Business A	ENG311	2	選択	重複履修可
	Pre-Advanced English - Business B	ENG312	2	選択	重複履修可
	Pre-Advanced English - History A	ENG321	2	選択	重複履修可
	Pre-Advanced English - History B	ENG322	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Culture A	ENG401	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Culture B	ENG402	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Culture C	ENG403	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Culture D	ENG404	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Social Science A	ENG431	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Social Science B	ENG432	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Social Science C	ENG433	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Social Science D	ENG434	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Literature A	ENG441	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Literature B	ENG442	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Honors A	ENG491	2	選択	重複履修可
	Advanced English - Honors B	ENG492	2	選択	重複履修可
	英語音声学	ENL201	2	選択	
	アメリカ文学史	ENL211	2	選択	
	イギリス文学史	ENL212	2	選択	
	英米文学各論A	ENL213	2	選択	
英米文学各論B	ENL214	2	選択		
英語史	ENL301	2	選択		
応用言語学	ENL302	2	選択		

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択の別	備考
中国語・中国文化プログラム	入門中国語文法（HSK 2級）	CHN101	2	必修	HSK2 級以上合格者は必修除外
	入門中国語作文（HSK 2級）	CHN102	2	必修	HSK2 級以上合格者は必修除外
	初級中国語文法（HSK 2級）	CHN103	2	必修	HSK2 級以上合格者は必修除外
	初級中国語作文（HSK 2級）	CHN104	2	必修	HSK2 級以上合格者は必修除外
	HSK対策中国語集中講座A	CHN105	1	選択	集中講義/重複履修可
	HSK対策中国語集中講座B	CHN106	1	選択	集中講義/重複履修可
	中級中国語（HSK 3級）A	CHN201	2	選択必修	HSK3 級以上合格者は選択必修除外
	中国語講読A	CHN202	2		
	中級中国語（HSK 3級）B	CHN203	2	選択必修	HSK3 級以上合格者は選択必修除外
	中国語講読B	CHN204	2		
	上級中国語（HSK 4級）A	CHN301	2	選択	
	上級中国語（HSK 4級）B	CHN302	2	選択	
	ビジネス中国語A	CHN303	2	選択	重複履修可
	ビジネス中国語B	CHN304	2	選択	重複履修可
	観光中国語A	CHN306	2	選択	重複履修可
	観光中国語B	CHN307	2	選択	重複履修可
	通訳中国語A	CHN401	2	選択	重複履修可
	通訳中国語B	CHN402	2	選択	重複履修可
	医療中国語A	CHN403	2	選択	重複履修可
	医療中国語B	CHN404	2	選択	重複履修可
	中国語圏の文化と思想	CHL101	2	選択	
	中国語圏の文学	CHL102	2	選択	
	日中文化交流A	CHL201	2	選択	
日中文化交流B	CHL202	2	選択		
漢文学A	CHL203	2	選択		
漢文学B	CHL204	2	選択		
中国地域研究A	CHL301	2	選択		
中国地域研究B	CHL302	2	選択		
ゼミナール	アカデミアゼミA	SEM301	2	必修	
	アカデミアゼミB	SEM302	2	必修	
	アカデミアゼミC	SEM401	2	必修	
	アカデミアゼミD（卒業研究）	SEM402	2	必修	
	卒業論文	SEM403	4	選択	通年

分野	科目名	コード	単位数	必修・選択の別	備考
教員養成プログラム	教職概論	EDU101	2	選択	
	教育原論	EDU102	2	選択	
	教育の制度と経営	EDU201	2	選択	
	道徳教育論	EDU202	2	選択	
	英語科教育法Ⅰ	EDU203	2	選択	卒業要件に含めず
	英語科教育法Ⅱ	EDU204	2	選択	卒業要件に含めず
	国語科教育法Ⅰ	EDU205	2	選択	卒業要件に含めず
	国語科教育法Ⅱ	EDU206	2	選択	卒業要件に含めず
	教育心理学	EDU301	2	選択	
	教育方法論	EDU302	2	選択	
	特別活動論	EDU303	2	選択	卒業要件に含めず
	生徒指導論	EDU304	2	選択	卒業要件に含めず
	教育相談論	EDU305	2	選択	卒業要件に含めず
	英語科教育法Ⅲ	EDU306	2	選択	卒業要件に含めず
	国語科教育法Ⅲ	EDU307	2	選択	卒業要件に含めず
	教育実習事前事後指導	EDU401	1	選択	卒業要件に含めず
	教育実習A	EDU402	4	選択	卒業要件に含めず
	教育実習B	EDU403	2	選択	卒業要件に含めず
	教職実践演習	EDU404	2	選択	卒業要件に含めず

注：

1. コード番号の見方

科目の分野を表すアルファベットの後、100の位の数字が1の科目は難易度が最も低く、4の科目は最も高くなります（おおよその配当年次に相当します）。難易度が低い科目の履修から始め、次第に難易度の高い科目に移っていく必要があります。



2. 必履修

必修・選択の別の欄に「必履修」または「選択必履修」と記載された科目は、単位修得は必要ありませんが、必ず履修してください。

3. その他

- ・「通年」と記載された科目は、1年（＝2セメスター）を通して授業が行なわれる科目です。
- ・教員免許状の取得については「2-27 教員養成プログラム」を熟読してください。

## 2-27 教員養成プログラム

規定の単位を修得することで、英語または国語の中学校教諭1種免許、高等学校教諭2種免許を取得できます。中学校・高等学校両方の免許を同時に取得することができます。次の点に注意してください。

- 原則として、中・高両方の免許を取得してください。
- 国語・英語の2教科の教員免許状を取得することはできません。
- 教員養成プログラムの登録は1年次秋期です。登録希望者に対してガイダンスを行いません。

### 取得可能な教員免許状の種類

教科	免許状の種類
国語	中学校教諭1種
	高等学校教諭1種
英語	中学校教諭1種
	高等学校教諭1種

※以下、中学校教諭1種免許を「中免」、高等学校教諭2種免許を「高免」、両方に共通する場合を「教免」と略することがあります。

#### 1. 免許状取得のための要件

- 学士の学位を有すること。
- 以下の所定の単位を修得すること。

(1) 文部科学省令により修得することを定められている科目（卒業要件単位数に含まれます）

授 業 科 目	単 位	配当年次				備 考
		1	2	3	4	
日本国憲法	2		◎			
体育実技A	1	◎				
体育実技B	1	◎				
Conversation	2	◎				
情報基礎A	2	◎				

※8単位以上。表中の◎は必修科目（英語、国語共通）。

(2) 教科に関する科目：英語の免許を取得する場合（卒業要件単位数に含まれます）

科 目	授 業 科 目	単 位	配当年次				備 考
			1	2	3	4	
英 語 学	Basic English	2	◎				
	Reading (Upper)	2		◎			
	Writing (Upper)	2		◎			
	英語史	2			○		
	英語音声学	2		○			
	応用言語学	2				○	

科目	授業科目	単位	配当年次				備考
			1	2	3	4	
英米文学	アメリカ文学史	2		◎			2科目より1科目を選択必修
	イギリス文学史	2		◎			
	英米文学各論A	2		○			
	英米文学各論B	2		○			
	Advanced English - Literature A	2			○		
	Advanced English - Literature B	2			○		
英語コミュニケーション	Conversation	2	◎				
	Oral Communication (Beginner)	2	○				
	Oral Communication (Intermediate)	2		○			
	Oral Communication (Upper)	2		○			
異文化理解	Pre-Advanced English - Culture A	2			◎		2科目より1科目を選択必修
	Pre-Advanced English - Culture B	2			◎		
	欧米の文化	2			○		
	欧米の思想	2			○		
	海外実習	2			○		

※ 表中の◎は必修科目（選択必修科目を含む）、○は選択科目

【免許取得に必要な最少単位数】

科目	最少単位数	備考
必修科目	12	必修8単位、選択必修4単位
選択科目	16 / 18	中学校1種免許：16単位 高等学校1種免許：18単位
合計	28 / 30	中学校1種免許：28単位 高等学校1種免許：30単位

(3) 教科に関する科目：国語の免許を取得する場合（卒業要件単位数に含まれます）

科目	授業科目	単位	配当年次				備考
			1	2	3	4	
国語学	文章表現法A	2	◎				
	文章表現法B	2	◎				
	日本古典語入門	2		◎			
	日本語史	2			◎		
	日本語概説	2		○			
	日記・随筆文学を読む	2		○			

科 目	授 業 科 目	単 位	配当年次				備 考
			1	2	3	4	
国語学	日本近現代文学とメディア	2		○			備 考
	日本語学演習A	2			○		
	日本語学演習B	2			○		
国文学	日本古典文学史	2		◎			
	日本近現代文学史	2		◎			
	日本近現代文学の成立と展開	2		◎			
	和歌文学の世界	2		◎			
	郷土の歴史と文化A	2	○				
	郷土の歴史と文化B	2	○				
	物語文学を読む	2		○			
	読んでおきたい日本の近現代文学	2		○			
	日本文学演習A	2			○		
	日本文学演習B	2			○		
	日本文学演習C	2			○		
日本文学演習D	2			○			
漢文学	漢文学A	2		◎			
	漢文学B	2		◎			
	中国語圏の文学	2	◎				
	中国語圏の文化と思想	2	○				
書 道	書道A	1	◎			中免のみ必修	

※ 表中の◎は必修科目、○は選択科目

【免許取得に必要な最少単位数】

科目	最少単位数	備 考
必修科目	23/22	中学校 1 種免許：23 単位 高等学校 1 種免許：22 単位
選択科目	6/8	中学校 1 種免許：6 単位 高等学校 1 種免許：8 単位
合計	29/30	中学校 1 種免許：29 単位 高等学校 1 種免許：30 単位

(4) 教職に関する科目：英語、国語共通（\*の付された科目は卒業要件単位数に含まれません）

授 業 科 目	単 位	配当年次				備 考
		1	2	3	4	
教職概論	2	◎				
教育原論	2	◎				
教育の制度と経営	2		◎			
道徳教育論	2		◎			中免必修
教育心理学	2			◎		
教育方法論	2			◎		
*特別活動論	2			◎		
*生徒指導論	2			◎		
*教育相談論	2			◎		
*国語科教育法Ⅰ	2		◎			中・高免国語必修
*国語科教育法Ⅱ	2		◎			中・高免国語必修
*国語科教育法Ⅲ	2			◎		中・高免国語必修
*英語科教育法Ⅰ	2		◎			中・高免英語必修
*英語科教育法Ⅱ	2		◎			中・高免英語必修
*英語科教育法Ⅲ	2			◎		中・高免英語必修
*教育実習事前事後指導	1				◎	
*教育実習A	4				◎	中免必修
*教育実習B	2				◎	高免のみの場合必修
*教職実践演習	2				◎	

※表中の◎は必修科目（選択必修科目を含む）、○は選択科目

※「教育実習A」（4単位）は3または4週間の、「教育実習B」（2単位）は2週間の実習です。中免は4単位以上、高免は2単位以上の修得が必要です。したがって、「教育実習A」の単位を修得すれば中免と高免両方が取得できますが、「教育実習B」しか単位修得しない場合には高免しか取得できません。前記のように本学では中・高両方の免許取得を原則としますので、原則として「教育実習A」を単位修得してください。

**【免許取得に必要な最少単位数】**

科目	最少単位数	備 考
中学校1種免許+高等学校1種免許	31	教育実習Aを履修
高等学校1種免許のみ	27	教育実習Bを履修

(5) 教員免許取得に必要な最少単位数

科目	中学校 1 種免許 + 高等学校 1 種免許		高等学校 1 種免許のみ	
	英語	国語		
文部科学省令により取得することを定め られている科目	8	8	8	8
教科に関する科目	28	29	30	30
教職に関する科目	31	31	27	27
合計	67	68	65	65
その他	介護等体験（下記参照）			

(6) 介護等体験（本学が開講する科目ではありません）

中学校 1 種免許状取得には介護等体験の修了証明書の提出が必須です。社会福祉施設、老人福祉施設、盲・聾・養護学校等における 7 日間の介護等の体験実習です。2 年次に事務局教務課に申込み、3 年次に実施します。本学教職養成プログラム履修者は、中学校、高等学校の両方の免許を取得することを原則とするため、全員必ず行なってください。

(7) 学習支援、教職インターンシップ

教職課程履修者は、小牧市立小・中学校において学習支援やインターンシップを行いません。詳細については、教員養成プログラムのガイダンスで説明します。

(8) 教育実習の履修要件

原則として、3 年次修了までに 4 年次配当科目を除き、上記（1）から（5）までの必要なすべての科目を単位修得しているか、4 年次春期に単位修得見込みであることが求められます。ただし、卒業要件単位数が著しく不足している場合には、この条件を満たしていても教育実習の履修を認めないこともあります。

(9) 費用

教員免許取得には諸費用が必要となります。金額および納入の時期・方法等については、教員養成プログラムのガイダンスで説明します。

## 2-28 日本語教員養成コース

日本語教員とは、職業として、あるいはボランティアとして、日本語を母語としない学習者（留学生など）に日本語を教える教員です。本学の「日本語教員養成コース」は、日本語教員として必要となる知識・技能を修得するための課程です。下記の科目一覧に従って必要となる科目の単位(28単位以上)を修得し、所定の時期に申請した学生には、本学より「日本語教員養成コース修了証」が発行されます。ただし、この修了証は資格証明書でも教員免許状でもありませんので、実際に日本語学校などで日本語教員として働くためには、本コースの修了だけでなく、「日本語教育能力検定試験」に合格することが望ましいです。本コースの履修は1年次から始まります。卒業の年度までに「日本語教育能力検定試験」を受験することを勧めます。

### 1. 登録

本コースの履修を希望する者は、所定の用紙に必要事項を記入し、履修登録期間中に事務局教務課に届け出てください。

### 2. 費用

卒業年度の秋期試験期間前後に「日本語教員養成コース修了証」発行申請を行なう際に、所定の手数料(250円)が必要です。

### 3. 科目一覧

領域	授 業 科 目	単 位	配当年次				備 考
			1	2	3	4	
ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	日本語教育論Ⅰ(概論)	2	◎				
	日本語教育論Ⅱ(文法)	2	◎				
	日本語教育論Ⅲ(音声)	2		◎			
	日本語教育論Ⅳ(教授法)	2		◎			
	日本語教育論Ⅴ(実践演習)	2				◎	
言 語	応用言語学	2			◎		
	英語音声学	2		○			2科目4単位以上 を選択必修
	ドイツ語Ⅰ	4		○			
	ドイツ語Ⅱ	4		○			
	ドイツ語Ⅲ	2			○		
	ドイツ語Ⅳ	2			○		
	韓国語Ⅰ	4		○			
	韓国語Ⅱ	4		○			
	英語史	2			○		
	言語学	2			○		
多文化共生と地方自治(集中講義)	2			○			
教 育	教育心理学	2			◎		
	教育原論	2	○				1科目2単位以上 を選択必修
	教育の制度と経営	2		○			
	教育方法論	2			○		

領域	授 業 科 目	単 位	配当年次				備 考
			1	2	3	4	
日本語・日本文学	日本語概説	2		◎			1科目2単位以上 を選択必修
	日本語史	2			◎		
	読んでおきたい日本の近現代文学	2		○			
	物語文学を読む	2		○			
	日本古典語入門	2		○			
	日本近現代文学の成立と展開	2		○			
	日記・随筆文学を読む	2		○			
	日本近現代文学とメディア	2		○			
	和歌文学の世界	2		○			
	日本古典文学史	2		○			
	日本近現代文学史	2		○			
社会・文化・地域	日本語文化入門	2		○			1科目2単位以上 を選択必修
	通史が描いてきた世界	2		○			
	歴史解釈の多様性	2		○			
	日本仏教史	2		○			
	ヨーロッパ史	2		○			
	アメリカ史	2		○			
	中国語圏の歴史（前近代）	2	○				
	中国語圏の歴史（近現代）	2	○				
	インドの歴史と文化	2	○				
	郷土の歴史と文化A	2	○				
	郷土の歴史と文化B	2	○				
	欧米の文化	2			○		
	欧米の思想	2			○		
	映像文化論	2			○		
	中国語圏の文化と思想	2	○				
	インド仏教史	2		○			

※ 表中の◎は必修科目、○は選択科目です。

## 2-29 証明書の発行

教務課で発行申請をしてください。原則、申請・受取りは窓口で行なってください。申請には下記の発行手数料が必要です。なお、英文証明書の発行は、証明書の種類を問わず申請の7日後です。

証明書種別	発行日	金額（和文・英文共通）
在学証明書	翌日	250 円
成績証明書	翌日	
単位修得見込証明書	翌日	
卒業見込証明書	翌日	
卒業証明書	翌日	
健康診断証明書	翌日	
出席証明書	3日後	
教員免許状取得見込証明書	3日後	
学力に関する証明書（教職）	3日後	
学生証の再発行	翌日	2,000 円

### 1. 郵送による申込

窓口申請が原則ですが、長期休暇中等やむを得ない場合は郵送による申請が可能です。次の必要事項を記入し、発行・返信手数料を同封して現金書留で教務課宛に郵送してください。

<必要事項> 学籍番号、氏名、生年月日、使用目的、郵便番号、住所、携帯電話番号  
証明書の種類と通数

<返信手数料> 3通以内 120 円、4通以上 140 円（速達 280 円追加）（2017.4.1 現在）

### 2. インターネットによる申込

卒業生からの申請に限り、電子メールによる申込が可能です。次の必要事項を入力し、送信後必ず大学に電話をして確認してください。

<必要事項> 学籍番号、氏名、生年月日、使用目的、携帯電話番号、証明書の種類と通数